



「知る」を深め、心豊かに生きる。

月に一度のアクロス福岡シンフォニーホールでの講演。

毎回、笑いや涙に溢れています。

著名な先生の意外な一面、名前は知らなかったけど、とても面白いお話をされた先生。

年12回の講演会を楽しみに会場は受講生(市民大学生)で満席です。

九州市民大学は今年で発足31周年を迎え、多くの受講生に支持されています。

その人気の秘密に迫ってみましょう。



2008年(第22期)4月講演 中村 哲氏



2009年(第23期)6月講演 小林 研一郎氏



2010年(第24期)9月講演 宮本 亜門氏



2012年(第26期)8月講演 千住 真理子氏



2014年(第28期)2月講演 浅香山 博之親方



2015年(第29期)2月講演 姜 尚中氏





九州市民大学の魅力

九州市民大学では、年間の講師選定に2年前から準備して、検討を重ね人選されます。運営委員の方々の幅広い見識や人脈がそれを可能にしています。年間12回の講演者は幅広いジャンルの中から選ばれ、いろんな世界があることを知らされます。さらに自由に参加できる「野外研修ツアー」や「特別講座」、「サマースクール」が別途開催されています。

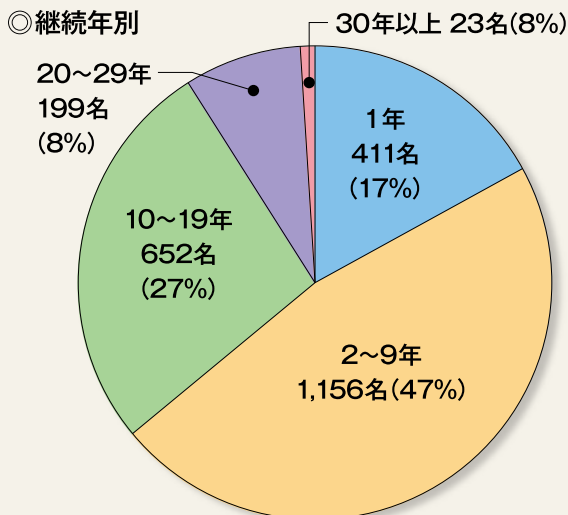
九州市民大学の入学には制限はなく、年齢、学歴、性別は一切不問です。もちろん入学試験もありません。毎年1月開校、申込期間は11～12月ですが、途中からも申し込みます。昼の部、夜



の部があり、定員はそれぞれ1,800名の合計3,600人です。

九州市民大学の学生(受講生)は継続して毎年受講されている方が多いのも特徴です。最も長い方では、開学以来30年間継続して受講いただいています。

入学の動機は「自己啓発」や「生涯学習」などが圧倒的に多く、健康な限りは続けていきたい人が多いのも特徴です。また、「月に一度は講義の後、買い物を楽しんでいます」とか、「美味しいランチを食べて、講義に行きます」など、大学の講義とうまくセットしている方も多いのです。



※2017年6月1日現在の受講生の2,441人について
(受講生総数2,477人より、法人36口を除く)

◎ 受講生構成

	受講生数	部 別		性 別		年 齢 別		居 住 地			法 人	受講生総数
		昼の部	夜の部	男	女	60歳以上	60歳以下	市内	県内	県外		
19期 2005 (平成17年)	3205	2100	1105	795	2410	2431	774	1958	1179	96	28	3233
20期 2006 (平成18年)	2954	2078	876	726	2228	2364	590	1809	1066	120	41	2995
21期 2007 (平成19年)	3253	2090	1163	779	2474	2520	733	2034	1162	99	42	3295
22期 2008 (平成20年)	3325	2113	1212	821	2504	2688	637	2094	1167	106	42	3367
23期 2009 (平成21年)	2687	1959	728	667	2020	2310	377	1643	985	99	40	2727
24期 2010 (平成22年)	3079	2110	969	749	2330	2567	512	1875	1130	113	39	3118
25期 2011 (平成23年)	3017	2115	902	689	2328	2601	416	1747	1186	117	33	3050
26期 2012 (平成24年)	2721	2049	672	611	2110	2400	321	1548	1093	112	32	2753
27期 2013 (平成25年)	3370	2129	1241	775	2595	2870	500	1833	1448	122	33	3403
28期 2014 (平成26年)	2742	2030	712	636	2106	2471	271	1477	1159	130	24	2766
29期 2015 (平成27年)	2606	1990	616	587	2019	2319	287	1395	1092	143	24	2630
30期 2016 (平成28年)	2928	2153	775	699	2229	2629	299	1543	1267	138	20	2948

サマースクール

2008 年（平成 20 年）からスタートした、夏 1 日限定の集中講座です。第一線で活躍されている地元の研究者や専門家を迎え、医学、工学、法律、芸術と多岐にわたった内容です。

—— 2016 年（平成 28 年）事例 ——

豊かに生きる、元気に過ごす

- ◎1 時間目／脳卒中と認知症から自らを守る
- ◎2 時間目／アレルギーに負けない生活
- ◎3 時間目／豊かに生き、豊かに逝く



〈2013 年サマースクール〉 絵画の革命～印象派

特別講座

定期講演会の課外授業的な講座で、地元の講師を囲み、少人数で交流。

—— 2016 年（平成 28 年）事例 ——

ものづくり探訪

～北九州・安川電機みらい館と
TOTOミュージアム見学～



〈2016 年特別講座〉 ロボット見学のあとに記念撮影

野外研修ツアー

歴史や文化を訪ねる春秋の年 2 回、日帰りや 1 泊旅行。毎年、視点を変えた企画で、楽しみにされている参加者が多い。参加人数も多いため、親睦の旅にもなっています。

—— 2016 年（平成 28 年）事例 ——

[第 45 回] 沖縄文化と碧い海

～沖縄を味わい尽くす～

[第 46 回] 紅葉の中

筑豊の宝物を訪ねて

～田川市石炭・歴史博物館、
料亭あをぎり、英彦山神宮～



〈第 45 回野外研修ツアー〉 「花やから」の歌謡ショー



〈2013 年特別講座〉 唱歌・童謡の旅 歌唱／山崎晶子氏 ピアノ／秦久恵氏 会場／FFG ホール（福岡銀行本店地下）



2009年(第23期)1月講演 茂山千五郎家



2007年(第21期)10月講演 湯川 れい子氏



私と九州市民大学：受講生の声

「求む月一回の大学生」にさそわれて！

遠賀郡遠賀町

磯部 文恵

還暦になる頃のこと、姑と母、二人の介護に疲れ、自失状態でいらいらが続く日々、何かと娘に助けられていました。そんな時、九州市民大学の募集を見て、キャンセル待ちしていましたが、4月から受講生になることが出来ました。月に一日の電車通学、幅広い分野からの講師陣、優れた先生方のお話にオーラをもらい、元氣と笑顔と充実感に満たされて帰る家路、本当に幸せです。

学生時代からの友とその隣人との3人で毎月の講座、春と秋に行われる野外研修とサマースクールに20年余参加しています。市民大学旅行愛好会の海外研修旅行にも、多く参加できました。安全性や余裕ある行程等、安心できるもので、色々な国を巡りました。井の中の蛙の私も、少しは外国を知ることが出来たかなと思っていきます。家から一時間ほどの道中も楽しく、いい話を聴き、出席される方のファッションにも目がいき、友人も多くなりました。少しはおしゃれになったかな…。

沖縄野外研修も終わり、家に着いたそのときに、熊本地震、今までに訪れた熊本城や阿蘇神

社、トロッコ列車で見た緑あふれた町々の被害に、心よりお見舞い申し上げます。

三十周年を祝してお慶びを申し上げるとともに、これからも好奇心だけは衰えないように願いつつ、体力の続く限り、楽しみながら、月一回の大学生を貫徹させたいと思います。

野外研修ツアー「わらび座」の思い出

福岡市西区

牛尾 弘

九州市民大学というものを知ったのは、まだ、現役で仕事をしていた頃、新聞でだったと思います。

20周年という年だったと思います。記念の旅行があるということで、それも東北、紅葉の季節、そして、田沢湖の中にある「わらび座」を訪ねるというではありませんか。これは行かねば、と。そこで、出会った俳優の椿さんという人のもう素晴らしいこと、福岡県朝倉市出身と聞いてまたじーんときましてね。その後、彼を交えた劇団員と私たちの懇親会が旅の宿で行われました。おひねりも誰も何も言わないのに飛び交うし、拍手、喝采に包まれた感動の一時でした。その時に司会をしていた運営委員の方から私たちも何



2010年(第24期)1月講演 琉球王朝時代の古典舞踊「四つ竹」



2013年(第27期)10月講演 篠田 正浩

か劇団員の方々にお礼をと言われ、「椿さんへのお礼に、博多の歌をお聞きいただきましょう」と、私手を挙げていました。そして、唄った「正調博多節」。涙を浮かべて私の手を握った椿さん。「堂に入って素晴らしかった」と褒めてくれた司会者。今でも忘れない思い出です。

現在も、他の団体にも属しながら、市民大学にも通っているのは、そこで出会う人々の地域や仕事のジャンルを超えた、何か、強いものにつき動かされるからです。いつも、妻と一緒に楽しんでいます。

作り続けた「旅日記」

福岡市南区

砂原 かおる

九州市民大学旅行愛好会という名のもとに、受講生の有志と、年に一度、海外旅行を楽しんでいる。昨年が19回目。メンバーは少しずつ替わってきているが、ようも、ようも、長く続いたものだと思う。

私は、その都度、後日、旅の足跡と印象を、つぶさに「私の旅日記」と題して、小冊子にまとめ、これを作り続けて17冊目となった。

旅行は19回行われたが、私は足の不調で2回、不参加。参加者の皆さんも、これが出来上がるのを、たのしみしておられた。ご自身の思い出と

重ね合わせ、写真の整理に役立てておられるようだ。

この旅行愛好会が出来たきっかけは、九州市民大学開学10周年を記念して企画された初の海外研修旅行。田中健蔵学長(当時)の発案により、大学発祥の地「ポロニーヤ」を中心に「中世の街を巡るイタリアの旅8日間」と銘打って、受講生24人、大学から3人、添乗員を含め計28人のツアーで実施された。これに参加した私は、初めての海外旅行で、感激もひとしお。その感動を忘れたく、旅の好きな有志と、翌年から、愛好会として始まった。以来、今日まで続いている。九州市民大学に入学したおかげで、海外旅行の機会にも恵まれ、心豊かに老境を楽しく過ごせていることに、心から厚くお礼申し上げます。



1987年～2016年

6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
楠本 憲吉	内藤 国雄	木元 教子	草柳 大蔵	富永 一郎	田中 澄江	桂 小金治
池見西次郎	佐藤 愛子	アントン・ウィッキー	水野 肇	多湖 輝	椎名 誠	アントニオ古賀
森 ミドリ	三宅 久之	平岩 弓枝	田部井淳子	神津 善行	篠田 正浩	石丸 寛
草柳 大蔵 クロード・チアリ	浅野 八郎 ドクトル・チエコ	米倉斉加年	田久保忠衛	榎本 勝起	松原 哲明	はらたいら
早坂 茂三	青木 秀	円山 雅也	下重 暁子	藤井 康男	森 瑤子	中川 志郎
グレゴリー・クラーク	三枝 成彰	今泉 正二	阿刀田 高	落合 恵子	池田満寿夫	福岡 政行
加藤 みどり	吉田 喜重	鶴見 和子	中松 義郎	舩添 要一	小関 哲哉	秋田美津子
村松 友視	吉村 作治	岸 恵子	神田 紅	安藤 和津	深作 欣二	磯村 尚徳
内海 桂子	松田 時彦	村田 昭治	野際 陽子	太田 章	市川 森一	宮尾登美子
宮内 博一	内館 牧子	宮尾すすむ	内田 健三	天野 祐吉	吉田ルイ子	水野 晴郎
山田 太一	市原 悦子	森田 実	養老 孟司	アーサー大野	辺 見じゅん	童門 冬二
野村 路子	美輪 明宏	筒井 康隆	福岡 政行	大熊 一夫	羽田健太郎	羽佐間正雄
村上 和雄	安藤 優子	柳田 邦男	秋山ちえ子 阿久 悠	杉本 苑子 猪瀬 直樹	九州交響楽団	三瀬 顕
江川 紹子	ジュームス三木	竹中 平蔵	林 真理子	北村 英治	轡田 隆史	時実 新子
五木 寛之	安藤 忠雄	サイトウサンペイ	広瀬久美子	田辺 聖子 杉本秀太郎	佐高 信	なかにし礼
田中 秀征	石橋 博良	樋口 恵子	菅原 文太	堺屋 太一 岡本 一行夫	池辺晋一郎	舞の海秀平 内館 牧子
コシノアヤコ コシノジュンコ	日野原重明 柳田 邦男	九州交響楽団	山折 哲雄	呉 善花	横澤 彪	荻野アンナ
田中 優子	小川 三夫 塩野 米松	草笛 光子	藍川 由美	小泉 武夫	中村 福助	田原総一郎
観世 清和	三浦雄一郎	沢松奈生子 有森 裕子	岸井 成格	渥美 雅子	ピーター・フランク	小柴 昌俊 阿木 燿子
梅本 正行	佐々木 毅	田村能里子	山之内秀一郎	中村 紘子	板橋 興宗	林 隆三
小菅 正夫	金田一秀穂	千住 博	石井 幹子	湯川れい子	手嶋 龍一	三遊亭歌之介
渡辺 淳一	酒井 啓子	辺 真一	稲川 素子	服部 幸應	由紀さおり	西川 右近
小林研一郎	野口 健	山田 邦子	鎌田 實	前川 裕美	榊原 英資	国本 武春
金子 兜太	星野 知子	奥野 史子	宮本 亜門	中島 啓江	夏木 マリ	三遊亭円楽
北川 正恭	假屋崎省吾	三屋 裕子	山折 哲雄	林 望	平岩 弓枝	西館 好子 川口 京子
池澤 夏樹	的川 泰宣	千住真理子	松原隆一郎	平田オリザ	中村メイコ	柳家 花緑
野村 萬斎	秋山 豊寛	ロバート・キャンベル	仲道 郁代	篠田 正浩	柳田 邦男	ジュディ・オング
遠藤 誉	鷺田 清一	藤田紘一郎	篠山 紀信	藻谷 浩介	立花 隆	山形 由美
森下 洋子	高階 秀爾	堤 未果	熊倉 功夫	マリ・クリスティーヌ	御厨 貴	岡部定一郎
十五代 沈壽官	仲代 達矢	田原総一郎	中園 ミホ	長谷川眞理子	栗林 慧	片岡鶴太郎

開学以来の講師の方々 (敬称略)

	アトラクション	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
昭和62年	映画評論家	水野 晴郎	小林 完吾	佐々木久子	扇谷 正造	藤本 義一
昭和63年	^{和楽器} 中村 寿 撮	永 六輔	江夏 豊	樋口 恵子	細川隆一郎	鈴木 健二
平成元年	福岡アカデミー 少年少女合唱団	森本 毅郎	別所 毅彦	松原 泰道	藤原 てい	安部 譲二
平成2年	金獅子太鼓	山本コウタロー	山崎 朋子	金田一春彦	廣瀬 嘉夫	ドクトル・チエコ 浅野 八郎
平成3年	^{日本舞踊} 博多 検 番	小沢 昭一 石井 ふく子	露木 茂	岡村 和夫	原 笙子	童門 冬二
平成4年	^{胡弓} 趙 国 良	田中 健藏	櫻井よしこ	續 天	沖藤 典子	五木 寛之
平成5年	^{朗読パーカッション} 三輪純子・福田隆	涌井 昭治	河竹登志夫	中村慶一郎	小宮 悦子	つかこうへい
平成6年	福岡アカデミー 少年少女合唱団	林 覚乗	小沢 遼子	ピー コ	塩田 丸男	岡村 和夫
平成7年	^{箏曲} 河原 久子	梁井 迪子	濤川 栄太	井上 章一	櫻井よしこ	矢崎 滋
平成8年	^{博多独楽} 筑紫 珠 楽	荒川規矩男	杉浦日向子	蜷川 幸雄	宮川 泰	筑紫 哲也
平成9年	^{筑前琵琶} 中村 旭 園	西島伊三雄	小山内美江子	村松 増美	桂 文珍	二木 啓孝
平成10年	^{長唄} 杵屋 彌 佑	十四代 沈壽官	野村万之丞	平野 次郎	吉行 和子	大林 宣彦
平成11年	^{観世流能楽} 森本 哲 郎	水間摩遊美	田中 義具 山本 容子	柳家小三治	中野 三敏	井沢 元彦
平成12年	^{京胡} 呉 汝 俊	森本 哲郎	梓澤 要	河合 隼雄	水谷八重子	竹田真砂子 西田 善夫
平成13年	^{尺八} 村岡 実	永 六輔	大岡 信	市田ひろみ	九州交響楽団	猪口 邦子
平成14年	^{尺八・箏・三絃} 渡辺 鈴土 ほか	桂 文珍	澤村藤十郎	小林カツ代	中坊 公平	小松 成美
平成15年	^{創作ダンス} 九州女子高校	昇地 三郎	深田 祐介	宮川 花子	澤地 久枝	木村尚三郎 佐々 淳行
平成16年	^{現代舞踊} 加藤舞踊学院	夏樹 静子	栗林 慧	国井雅比古	千 玄室	加藤 タキ
平成17年	^{太神楽曲芸} 翁家 勝 丸	春風亭小朝	幸田 真音	アグネス・チャン	タイムファイブ	猪口 邦子
平成18年	20周年記念新春コンサート	九州交響楽団	織作 峰子	大江健三郎	片倉もとこ	ロナルド・ドーア
平成19年	精華女子高等学校 吹奏楽部	白井のり子	谷村 新司	田勢 康弘	里中満智子	塩川正十郎 倍賞千恵子
平成20年	熊本県立盲学校 アンサンブル部	桂 三 枝	黛 ま ど か	二宮 清純	中村 哲	阿南 惟茂
平成21年	狂言への招待	茂山千五郎家	山本 良一	ジェラルド・カーティス	高樹のぶ子	佐木 隆三
平成22年	^{琉球舞踊} 安座間本流大北満之会 ^{組 踊} 宮城能鳳組踊研究会		市川團十郎	金子 勝	池田 武邦	岩見 隆夫
平成23年	25周年記念新春コンサート	九州交響楽団	風間 杜夫	本多 京子	松本 健一	有馬 稲子
平成24年	フラメンコ舞踏	小松原庸子	宮脇 昭	薮中三十二	伊藤比呂美	山本 浩
平成25年	九大フィルハーモニー ・オーケストラ	^{指揮} 荒谷 俊治	姜 尚中	小宮山 宏	櫻井よしこ	吉岡 幸雄
平成26年	男声合唱団西南シャントウール with NHK福岡児童合唱団MIRAI		浅香山親方	藤原 帰一	岡田茉莉子	武田 双雲
平成27年	ジャズクラリネット	北村 英治	姜 尚中	中田 英寿	孫崎 享	鶴丸 礼子
平成28年	歌舞伎役者 十五代	片岡仁左衛門	涌井 雅之	精華女子高等学校 吹奏楽部	池内 恵	玉木 正之

知るは喜び 学ぶは楽し



1/21(日) 雅楽師 東儀 秀樹



2/11(日) 経済評論家 荻原 博子



3/3(土) 漫画家 ヤマザキマリ



4/8(日) タレント コロケ



5/11(金) 作家・元外交官 佐藤 優



6/7(木) 彫刻家 外尾 悦郎



7/13(金) 華道次期家元 池坊 由紀



8/4(土) 料理研究家 土井 善晴



9/9(日) 指揮&お話 中井 章徳
九州交響楽団



10/18(木) 脳科学者 茂木 健一郎



11/8(木) 演出家 宮本 亜門



12/13(木) 落語家 桂 米團治

九州市民大学 2018年 受講生募集

お電話・FAXまたはホームページよりお申し込みいただけます。
お問い合わせもお気軽にどうぞ。

募 集 要 項

募集人数 / 昼の部:1800人 夜の部:1800人
入学資格 / どなたでも受講できます。
会 期 / 2018年1月～12月 毎月1回
時 間 / 昼の部:午後2時30分～午後4時
夜の部:午後6時～午後7時30分
会 場 / アクロス福岡・福岡シンフォニーホール
(福岡市中央区天神1丁目1-1)
年間受講料 / <昼の部>個人 1人 25,000円
夫婦・家族 1人 23,000円
(同居家族に限る)
<夜の部>個人 1人 23,000円
夫婦・家族 1人 21,000円
(同居家族に限る)

※摘要①「昼の部」受講生は、「夜の部」の講座を振り替え受講することができます。
②「夜の部」受講生は、「昼の部」の講座を振り替え受講はできません。「昼の部」の座席に余裕がないためです。

「夜の部」の特典

「夜の部」は座席数に余裕がありますので、ご家族やお友達を同伴され、ゆっくりと、講演を楽しむことができます。

1 「昼の部」より受講料が2,000円安く、お得です。

2 受講生には全員に招待券(夜の部のみ利用可)1枚を差し上げていますが、「夜の部」受講生にはあと1枚追加し、招待券を合計2枚プレゼントいたします。

新入会員紹介の方へ嬉しいお礼

期間 / 2018年3月まで

昼の部・夜の部にかかわらず、新入会員をご紹介いただいた受講生には新入会員お一人ご紹介につき、年間受講料を2,000円割引(返金)いたします。(例:2名紹介なら4,000円、3名なら6,000円割引)

お 申 し 込 み 方 法

下記、九州市民大学事務局へお申込みください。
受付け後、受講料振込用紙を郵送致します。

受 講 料 の お 支 払 い 方 法

九州市民大学指定の振込用紙をご使用いただきますと、振込手数料はかかりません。
現金でのご入金事務局で受付けます。

法 人 の み な さ ま へ

九州市民大学は、法人(企業)も参加できます。



会社の表彰制度に利用しています。

H株式会社 管理部長

当社では法人会員3口で入会し、36枚(3口×12か月)のチケットを有効に利用しています。
毎月の朝礼で社員報奨制度の副賞に利用しています。表彰者にはペアで行けるように2枚のチケットを渡します。

年間通じて使えるので、本人の都合に合わせて予定が組め、夜の部の講演はお昼より多少空いているので席も取りやすく、社員の評判もすこぶる良いので、続けていきたいと考えています。

◎後援 / 福岡県・福岡市・福岡県教育委員会・福岡市教育委員会・(公財)福岡市文化芸術振興財団

受講のお申込み・
お問い合わせは…

九州市民大学 事務局 TEL 092-714-0066

〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1-1 アクロス福岡 西館10階 FAX 092-714-6045 九州市民大学 検索